

‘大腸腺腫を背景因子から予測できるかを検討する探索的研究—二施設共同’のお知らせ

【目的】

問診させていただいて皆様から得られた情報から大腸ポリープ(腺腫)の有無を推定できるか検討します。これによって検査前に大腸ポリープの存在確率がわかれば、検査を受ける受けないの決定や検査精度の向上に役立つことが期待されます。

【対象】

当院において 20 歳以上で大腸内視鏡検査を受けられた患者さん。

【方法】

電子カルテから対象患者さんを抜粋し、問診に用いたタブレット端末の情報と電子カルテ上で調べた大腸ポリープ(腺腫)の有無を照らし合わせます。

【プライバシーの保護】

データ収集の際には、患者さん個人を特定しうる情報(個人情報)は院内で厳重に管理し、個人が同定されないよう匿名化した上でデータ収集、解析を行いません。この研究の成果は学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。

また、この研究は倫理委員会の承認を得て、患者さんの権利が守られていることや医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

当研究に関してご質問がある方や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 17 時の間に下記医師に連絡・相談頂きますようお願いいたします。

公益財団法人丹後中央病院
消化器内科 主任部長 濱田暁彦
☎ 0772-62-0791(代表)